

経営企画部長目標

経営企画部長

川上 一人(かわかみ かずひと)



当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



経営企画部の仕事

経営企画部は、企画総務課、経営企画課、広報課、デジタル戦略課の4課で構成され、総合計画その他重要施策の企画・調査及び調整、組織及び事務管理、行政経営、基地返還、人権及び男女共同参画、国際交流、広報、デジタル戦略に関することを主な仕事にしています。

経営企画部の令和3年度の目標

令和3年度については、デジタル技術を活用した業務の効率化と市民サービスの向上に取り組むとともに、「国土強靱化計画」の策定を進めます。また、引き続き、東京オリンピック・パラリンピックに関わる事業を進め、併せて、分かりやすい市政情報の発信に努めます。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	デジタル戦略に関する基本方針の策定	市の情報化施策の方向性を示す基本方針を策定します。	令和3年度中の策定を目指します。	パブリックコメント手続を経て、令和4年3月に「所沢市DX推進基本方針」を策定しました。 達成率:100%
2	RPAソフト及びAI-OCR導入事業	行政サービスの充実を目指し、職員の単純作業を自動化するためのシステムを導入します。	RPAについては、令和3年度中に庁内2課2業務での本格運用を開始し、併せて、令和4年度の導入拡大を進めます。 AI-OCRについても、令和3年度中に3課4業務に導入し、併せて、令和4年度以降の活用拡大を進めます。	RPAは、年度内に合計6課9業務に導入、AI-OCRは、4所属4業務に導入し、事務の効率化に貢献しました。 達成率:100%以上

3	国土強靱化地域計画策定事業	大規模自然災害によるリスクに備え、市の地域特性を考慮した防災・減災等に関する計画を策定します。	令和3年度中の策定を目指します。	令和4年3月に所沢市国土強靱化地域計画及びアクションプランを策定しました。 達成率:100%
4	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、ホストタウン関連事業や聖火リレー等の取組を進めます。	イタリアのホストタウンとしての所沢、また、ゴールボールの認知度の向上に努め、所沢ブランドの向上を目指します。	ホストタウンとして支援したイタリアチームはメダルを40個獲得、また、所沢市民体育館を練習拠点とするゴールボール女子チームが銅メダルを獲得しました。 達成率:100%